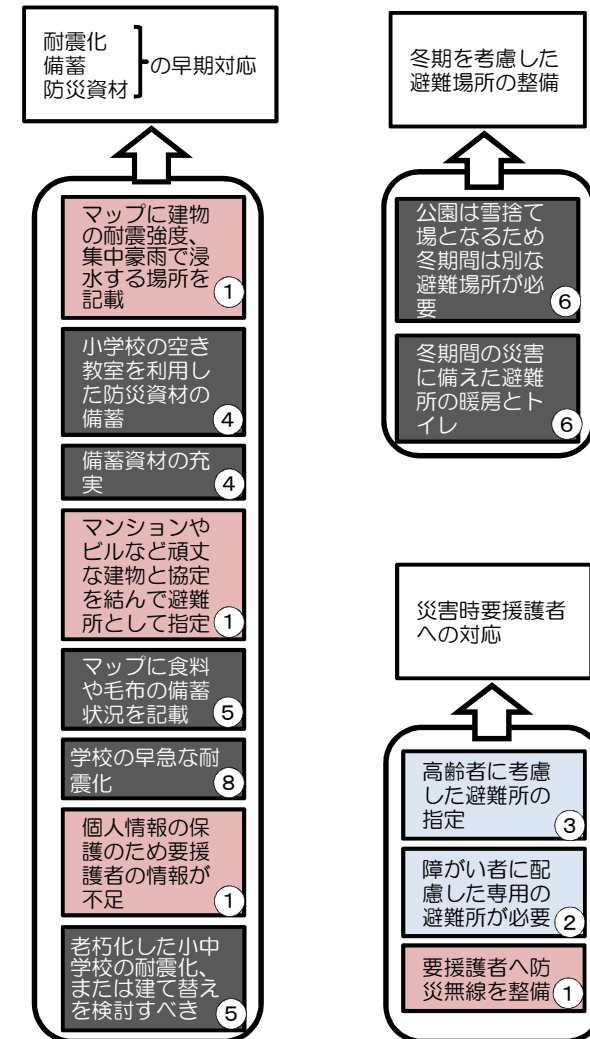
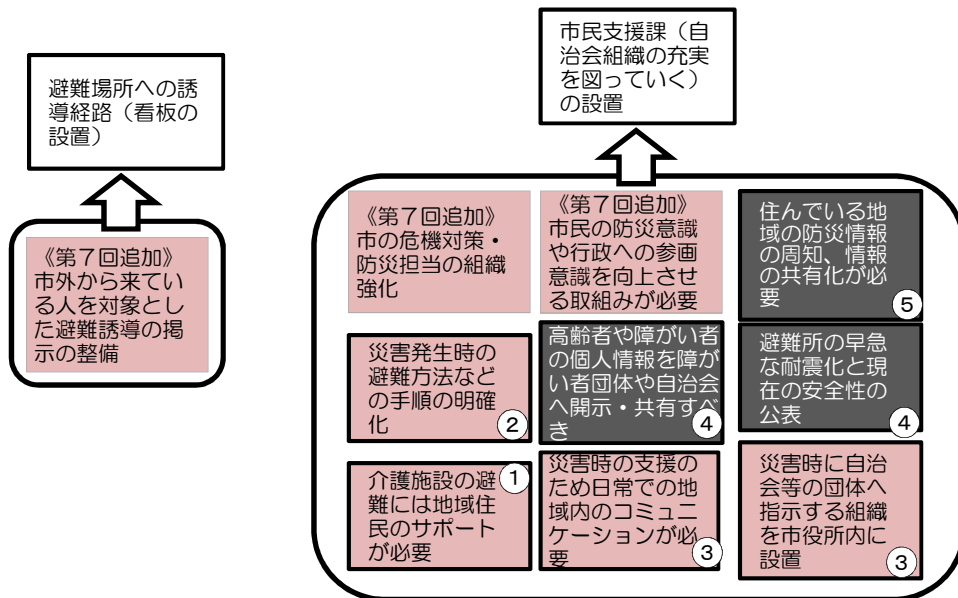


「安全・安心部会」 まちづくり政策提言

世田谷区から入植した歴史を踏まえた災害時の支援 **②** より現実的な方策として、身近な自治体や他の機関との連携強化をはかることとしたため、まちづくり政策から除外

	短期(すぐにでも)	中期(5年程度)	長期(10年程度)
ハード	<p>学校の早急な耐震化 ⑧</p> <p>老朽化した小中学校の耐震化、または建て替えを検討すべき ⑤</p> <p>避難所の早急な耐震化と現在の安全性の公表 ④</p> <p>マップづくりの充実 ①</p> <p>マップに液状化現象がおきそうな場所を記載</p> <p>マップに食料や毛布の備蓄状況を記載 ⑤</p> <p>水害発生時の現実的な避難場所を記載(公園避難は非現実的) ①</p> <p>マップに活断層の情報を記載</p> <p>マップに建物の耐震強度、集中豪雨で浸水する場所を記載 ①</p> <p>《第7回追加》事故が多発する場所を追記</p> <p>豊幌地区の洪水対策の充実 ②</p> <p>浸水の可能性が高い地域の避難体制と避難基準の明確化</p> <p>警察との連携</p> <p>《第7回追加》大学生の多い大麻地区をモデル地区として自転車対策を先駆けて実施</p> <p>《第7回追加》自転車が増えてよい歩道なのかどうかわかる看板の整備</p> <p>障がい者に配慮した専用の避難所が必要 ②</p> <p>マンションやビルなど頑丈な建物と協定を結んで避難所として指定 ①</p> <p>地区の人口にあわせた避難所の設定が必要 ④</p> <p>公園は雪捨て場となるため冬期間は別な避難場所が必要 ⑥</p> <p>冬期間の災害に備えた避難所の暖房とトイレ ⑥</p> <p>高齢者に考慮した避難所の指定 ③</p> <p>小学校の空き教室を利用した防災資材の備蓄 ④</p> <p>備蓄資材の充実 ④</p> <p>消防署との連携</p> <p>一次救命の充実</p> <p>AEDの設置 ①</p> <p>高齢者が除雪している消火栓の対策</p> <p>文京台地区への消防車の配備</p> <p>防犯機能付き街路灯の整備 ②</p> <p>要援護者へ防災無線を整備 ①</p> <p>携帯等の不通に備えた掲示板などのアナログな通信手段の整備 ②</p>	<p>整備の充実 ①</p> <p>《第7回追加》歩行者と自転車の通行を分離した道路の整備</p> <p>自転車道のハードの整備</p> <ul style="list-style-type: none"> ・分離歩道 ・自転車道 <p>要援護者へ防災無線を整備 ①</p> <p>携帯等の不通に備えた掲示板などのアナログな通信手段の整備 ②</p> <p>防犯機能付き街路灯の整備 ②</p>	
ソフト	<p>市民の相談のしてくれる課はあるのか? ①</p> <p>《第7回追加》市の危機対策・防災担当の組織強化</p> <p>中止できるのか</p> <p>6丁目踏切あとのアンダーパスの防犯対策が必要 ⑤</p> <p>災害時に自治会等の団体へ指示する組織を市役所内に設置 ③</p> <p>危機対策室の職員民生委員の充実 ③</p> <p>住んでいる地域の防災情報の周知、情報の共有化が必要 ⑤</p> <p>子どもが安全に遊べるような公園の防犯対策 ③</p> <p>災害情報の伝達にメール、インターネットを活用 ①</p> <p>個人情報保護のため要援護者の情報が不足 ①</p> <p>《第7回追加》市民の防災意識や行政への参画意識を向上させる取組みが必要</p> <p>《第7回追加》市民意見を市の取り組みに反映していくため、市民への情報提供の工夫が必要</p> <p>《第7回追加》市外から来ている人を対象とした避難誘導の掲示の整備</p> <p>災害発生時の避難方法などの手順の明確化 ②</p> <p>介護施設の避難には地域住民のサポートが必要 ①</p> <p>水害、インフルエンザ、竜巻</p> <p>水害、インフルエンザ、竜巻</p>	<p>《第7回追加》自転車のマナー向上のための条例の制定</p> <p>《第7回追加》自転車のマナー向上のための条例の制定</p>	
まちづくり	<p>災害時の支援のため日常での地域内でのコミュニケーションが必要 ③</p> <p>《第7回追加》北海道と市が関連する事業を実施する際の連携の強化</p> <p>消防署との連携</p> <p>警察との連携</p> <p>障がい者を含めた市全体での避難訓練が必要 ②</p> <p>市政たより充実HP ④</p> <p>情報PRわかるように! ④</p>	<p>自転車道路の整備</p> <p>歩行者のための歩道の除雪 ④</p> <p>高齢者の除雪作業は非常に大変 ②</p> <p>歩道の両側の除雪が必要 ①</p> <p>消防のレスキューマンによるPR ①</p> <p>札幌の住宅街の置き雪対策を参考とした取り組み</p> <p>安心して冬道を歩くための生活道路、歩道の除雪 ①</p> <p>幹線道路の除排雪(特に3番通) ③</p> <p>公共施設の耐震化などを公表し、江別の安全性をアピール ①</p> <p>3番通の中央分離帯が雪山になって視界が悪く大変危険 ④</p> <p>安全・安心をテーマにしたシティプロモーションの実施</p> <p>除雪 ①</p> <p>冬の災害に備えた除排雪 ⑤</p> <p>生活道路のきめ細やかな除排雪 ⑦</p> <p>冬に自転車に乗っている高齢者対策</p> <p>歩行者と自転車の区分け、看板掲示乗り方指導 ③</p> <p>除雪の時間帯の配慮</p> <p>子どもの通学時等の雪山が危険 ①</p> <p>市民意識の向上協働(共働)のまちづくり</p> <p>公共施設を市民と行政で管理運営ができるしくみづくり</p> <p>安全・安心なまちづくりを進め、江別の「安全」をPR ①</p>	

	短期(すぐにも)	中期(5年程度)	長期(10年程度)
ハード	<div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin-bottom: 5px;">耐震化 備蓄 防災資材</div> の早期対応		
	<div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin-right: 10px;">災害時要援護者 への対応</div> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px;">冬期を考慮した 避難場所の整備</div>		
ソフト	<div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin-right: 10px;">市民支援課（自治会組織の充実を図っていく）の設置</div>	<div style="border: 1px solid black; padding: 5px;">避難場所への誘導経路（看板の設置）</div>	
ハートづくり			



	短期(すぐにでも)	中期(5年程度)	長期(10年程度)
ハード	<p>《第7回追加》 事故が多発する 場所を追記</p> <p>《第7回追加》 自転車が走って よい歩道なのか どうか分かる 看板の整備</p> <p>《第7回追加》 大学生の多い大 麻地区をモデル 地区として自転 車対策を先駆け て実施</p>	<p>自転車道のハー ドの整備 ・分離歩道 ・自転車道</p> <p>《第7回追加》 歩行者と自転車 の通行を分離し た道路の整備</p> <p>これからのエコ (タウン)の社会 に向けて、江別が 率先して取り組ん でいくべき</p>	
ソフト		<p>《第7回追加》 自転車のマナー 向上のための条 例の制定</p>	
ハート づくり	<p>冬に 自転車 に乗っている 高齢者対策</p>	<p>自転車マナー（乗 り方）に関する教 育の必要性 ↓ 条例化へ</p>	

《第7回追加》
北海道と市が関
連する事業を実
施する際の連携
の強化

《第7回追加》
市民意見を市の
取り組みに反映
していくため、
市民への情報提
供の仕方の工夫
が必要

	短期(すぐにも)	中期(5年程度)	長期(10年程度)
ハード		防犯機能付き 街路灯の整備 ②	
ソフト	6丁目踏切あ とのアンダー バスの防犯対 策が必要 ⑤ 子どもが安全 に遊べるよう な公園の防犯 対策 ③		
ハート づくり		<div style="border: 1px solid black; padding: 5px; width: 100%;"> 公共施設を市民 と行政で管理運 営ができるしく みづくり (ex.江別高校 生によるアン ダーバスの管 理) </div> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; width: 100%; margin-top: 10px;"> 市民意識の向上 ↓ 共働 のまちづくり 協働 </div> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; width: 100%; margin-top: 10px;"> 市民支援課（自 治会組織の充実 を図っていく） の設置 </div>	<div style="border: 1px solid black; padding: 5px; width: 100%;"> 江別市民のまちづ くりに対する意識 を向上させる必要 性があるのではな いか ↓ 市民教育 (共働、協働のま ちづくり) </div>